

通いの場への支援

.....
支援の方向性と手法について



通いの場の概要と意義

通いの場とは

年齢や心身の状態等によらず高齢者が誰でも参加できる介護予防などを目的とした活動を行う場。

介護予防だけではなく、社会参加や住民間の互助を生み出すことで、地域力を高める拠点。

意義

認知症予防、体操（運動）、会食、多世代交流など様々な活動を実施。

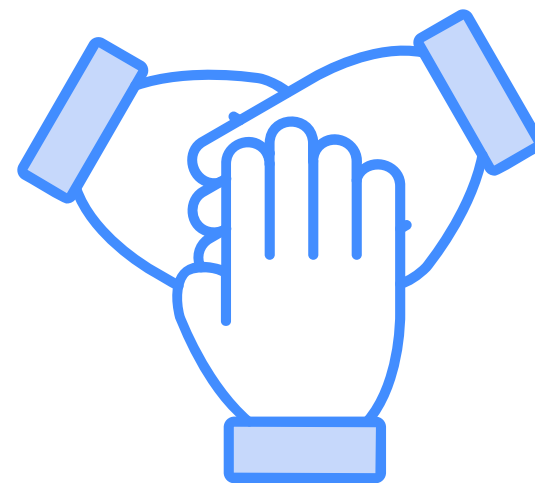
民生委員や地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーターとの連携でハイリスク者への早期介入や適切なアセスメント、効果的なアプローチにも繋がっている。

課題



通いの場の不足

「歩いて行ける範囲」にある
通いの場の立ち上げへの対応
(適切な場所の設定)



担い手不足

通いの場の担い手不足への対応



参加者の不足

通いの場参加者の不足・固定化

現状の課題解決に向けた支援が必要

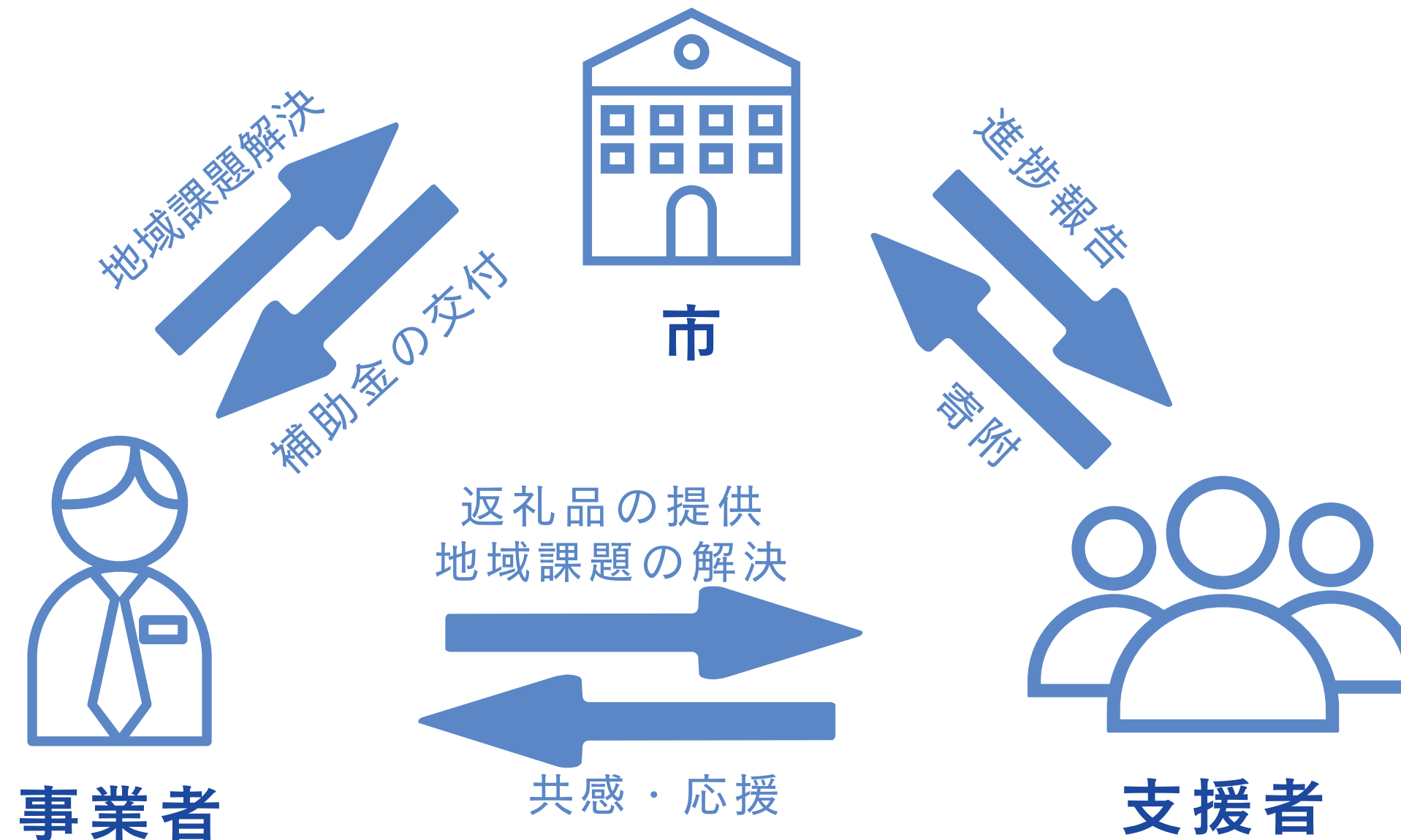
支援の方向性

- 本市で実施する社会起業家支援事業[※]の支援事業者と連携した支援を行う。
.....
- 空き家活用やコミュニティ運営支援、多世代交流拠点の運営など地域事業者が持つノウハウを活用し、地域資源や人材をつなぐ支援モデルを構築する。
.....
- 地域の資源や特性を生かした「多様な通いの場」づくりへの支援を行う。

※次ページ参照

ガバメントクラウドファンディングを活用した 社会起業家支援事業

ふるさと納税の仕組みを使って市の課題を解決する
ビジネスプランの資金を募る事業。



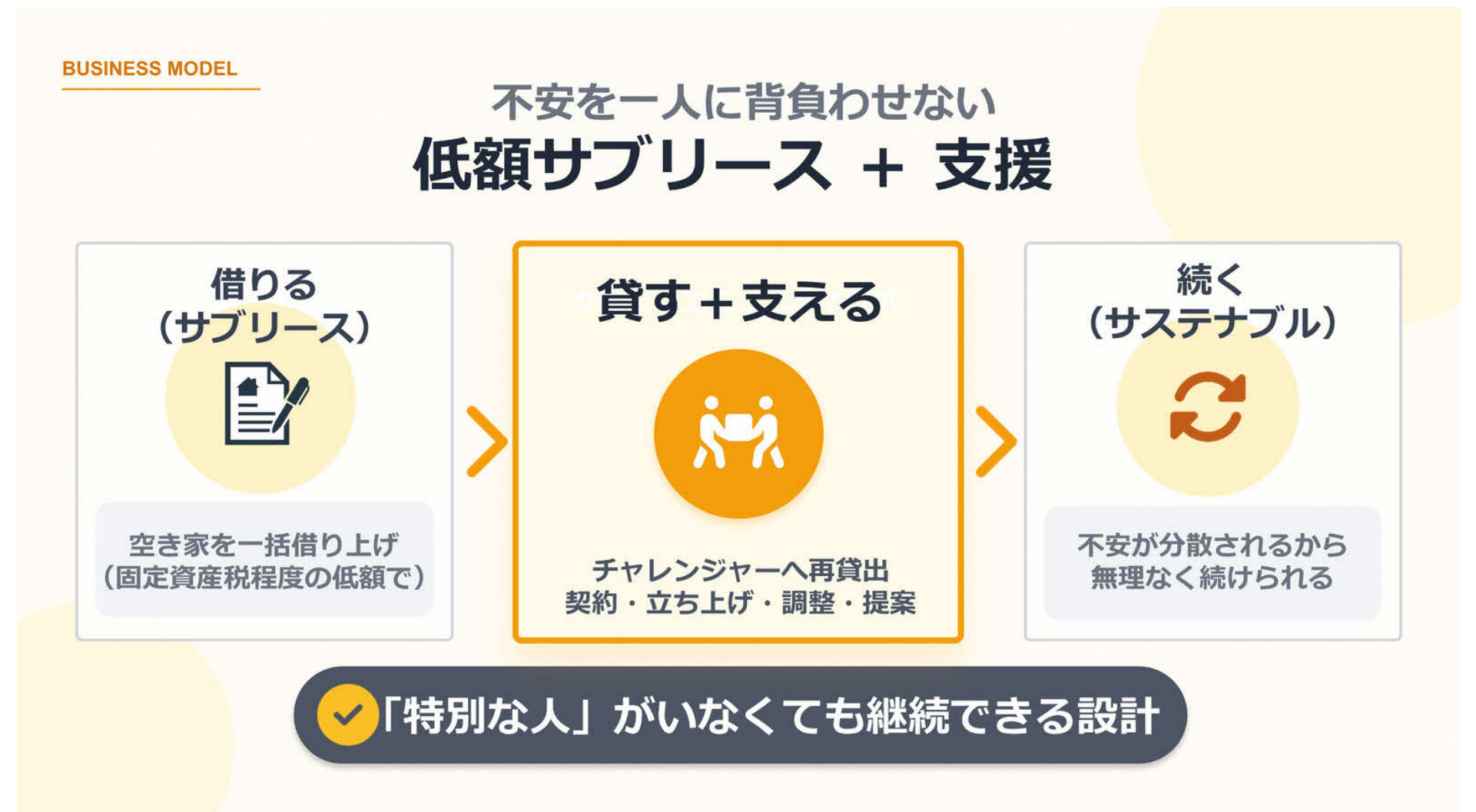
プラン1

かわにし空き家で社会貢献(川西コミュニティラボ)

空き家所有者と活動者をつなぐ低額サブリースと立ち上げサポートなどで空き家を地域活動の拠点に変える事業。

●提供リソース

通いの場へのコンテンツ提供
通いの場として使える空き家の低額有償提供
通いの場の運営方法への助言



プラン2

さかさま不動産（合同会社まちを楽舎）

物件を借りて挑戦したいことがある人の想いを可視化し、貸主を募集するWEBサービスを運営する事業。

- 提供リソース
通いの場として使える空き家とのマッチング
(要望をHP掲載)



プラン3

笹部発！多世代寺子屋（一般社団法人Sasabase）

川西市北部の笹部集落にある昭和の家
“Sasabase”の建物を活かして、多世代で
学び合う場を提供する事業。

- 想定される提供リソース
多世代交流できるスペースの提供
(有償)



■ 想定される効果



通いの場の増加

通いの場として空き家を活用することにより、歩いて行ける通いの場の増加する



担い手の増加

地域事業者との連携により若い世代や地域プレイヤーの関わりが生まれ、担い手が増加する



参加者の増加

地域事業者の多様なリソース活用により、参加者層が拡大し、参加者が増加する。

地域事業者との協働を進め、「地域循環型の通いの場」づくりを支援する